



第128回院内コンサート

日時：2026年6月20日（土）14時～

場所：亀田病院 新館待合ホール

♪ ♪♪ 演奏者プロフィール

しらい なおみ

サクソフォーン：白井 奈緒美さん



高松第一高等学校、くらしき作陽大学、パリ国立高等音楽院サクソフォークラスを一等賞及びメイヤー賞受賞にて卒業。これまでヨーロッパ、中国、タイなどにてコンサートに出演。（公財）よんでん文化振興財団奨学生。第四回アドルフ・サククス国際コンクールセミファイナリスト（ベルギー）。シュトゥックハウゼンコンサート（ドイツ）にて多数年演奏家賞受賞。香川県文化芸術新人賞受賞。日本現代音楽協会主催現代音楽演奏コンクール「競楽」にて2013、2024年の2度の入選と聴衆賞受賞。レコード芸術特選版に選ばれたアルバム「イニシャルS」を発売中。アルバムに収録されている酒井健治委嘱作品が全音出版社より出版されパリ国立高等音楽院入試課題曲となる。現在、よんでん文化振興財団、横浜市泉区テアトルフォンテアーティスト、楽器メーカーのセルマー・パリ、BG・フランス各アーティスト。横浜市民広間演奏会、一般社団法人横浜音楽文化協会、日本サクソフォーン協会、日仏現代音楽協会各会員。



ひゃくたけ けいこ

ピアノ：百武 恵子さん

東京音楽大学、大学院を経て、パリ国立高等音楽院にて伴奏科、室内楽科を一等賞を得て修了。2007年文化庁海外派遣芸術家海外研修員。フランス国際コンクール室内楽部門第一位。在学中よりロンティボー国際コンクール、カザルス音楽祭、などに公式伴奏者として参加。弦楽器クラス伴奏者を度々兼任し、パリ国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団などのメンバーと共演。09年に帰国。10年文化庁国際交流基金の支援のもとアルジェリアにてリサイタルを行う。ピアノを三浦捷子、川上昌裕、伴奏法と室内楽をJ.ケルネル、山洞智、C.イバルディの各氏に師事。東京音楽大学非常勤講師（伴奏、室内楽）。



プログラム

★ヴァイオリンソナタ第1番イ長調 op.13

フォーレ作曲

近代フランスの作曲家ガブリエル・フォーレ(1845-1924)が若い頃(1876年)今から150年前に書いた最も人気のある室内楽作品のひとつ。

- 1 楽章アレグロ・モルト エネルギーに溢れ、力強い作品
- 2 楽章アンダンテ しっとりとした舟歌
- 3 楽章アレグロ・ヴィヴォ 軽快
- 4 楽章アレグロ・クワジ・プレスト

ロマン派らしい美しさと、フランス音楽特有の繊細さが魅力的な作品をソプラノサクソフォンとピアノでお聴き下さい。

★アルトサクソフォンのためのソナタ

ウォーレイ作曲

サクソフォンの表現力を幅広く引き出す現代的な作品で、歌心・技巧・リズム感のバランスが非常に重要な曲。

- 1 楽章クラシックとジャズ的要素の間のような音楽
- 2 楽章内面的で少し憂い旋律
- 3 楽章リズムカルで躍動的なフィナーレ

**お願い：許可のない動画・写真の撮影はご遠慮ください。
なお、感染症拡大の際にはコンサートが中止となる場合もございます。**

次回、第129回院内コンサートは2026年7月18日(土)14時～